

I. 令和3年度事業報告

1. 事業運営の特色

令和3年度においては、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により、公演事業の中止、メイプルカルチャー講座の休止、きゅりあん・スクエア荏原・O美術館等各施設が緊急事態宣言中の休館や開館時間の短縮などを余儀なくされました。こうした状況の中で、令和2年度に事業団が独自に策定した「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染症対策により、安全かつ効果的に施設運営や各事業を進めて参りました。また、オンライン配信などウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業実施手法を拡張するなど、状況に応じ工夫を図りながら特色ある事業を展開いたしました。

品川区立総合区民会館（きゅりあん）は開館以来初の大規模改修工事に向けた準備を行い、令和4年2月より全面休館、事務室をこみゅにていぷらぎ八潮に仮移転いたしました。

2. 事業の状況

(1) 区民の文化芸術の振興に資する公演・展覧会等の事業の企画・実施（第1号事業）

① 令和3年度は、昨年度から延期となった公演を含め全21本の公演を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3本の公演が中止となる中、18本の公演を実施しました。このうち主催・共催公演15本の入場者総数は延べ7,870人、ライブ配信の視聴者は4公演872人でした。実施にあたり定員客席数50%での配席によるソーシャルディスタンスの確保をはじめ、手指消毒、検温、など感染拡大防止対策を行いました。

ア. 事業団主催事業（きゅりあん、スクエア荏原）

きゅりあんでは7本の実施事業を実施し、延べ2,906人の入場者がありました。

区内出身、在住の唸家「桂宮治真打襲名披露公演」では、豪華ゲストによる口上や地元ファンからの熱い声援で大いに盛り上がりました。

スクエア荏原では、昨年延期となったクラシックコンサートやマジックショーの2本の実施事業を実施し、延べ480人の入場者がありました。

イ. 共催事業

毎年恒例の「新春きゅりあん寄席」をはじめ9本の公演を予定していましたが、3本の公演が中止となり6本の公演を実施し、延べ4,484人の入場者がありました。

「中村勘九郎・中村七之助 錦秋特別公演」は全国15か所巡業公演の初日開催となり、人気の高い歌舞伎公演に幅広い層から好評をいただきました。

ウ. 品川区民芸術祭（9月5日～11月28日）

第12回目を迎えた「品川区民芸術祭2021」ですが、プロと区民の夢の共演「ドリームステージ」は、令和2年度に延期となった伝統芸能である落語、漫才、太神楽、音曲、マジックなどに挑戦し「しながわ大演芸会」と題し、7回のワークショップを重ねた21人の参加者が夢の舞台で共演し、参加者および入場者の総数は延べ477人でした。

② スクエア荏原では、指定管理者として計画した7本（主催5本、共催2本）の文化事業のうち6本（1本は中止）と2本の自主（財源）事業を実施し、参加者および観覧者の総数は延べ2,395人でした。

とくに、地域と連携して実施している「スクエア荏原演劇体験教室 劇団SQ-E」は、令和2年度開催予定が新型コロナウイルス感染拡大で1年延期となり参加者の一部入れ替

えもありましたが、令和3年度にさらに24回のワークショップと発表公演など計26回の教室を終えることができました。また、子どもの和文化体験を重視した「和文化フェスタ」、自主事業として実施している「ひらつかホール演奏体験会」、「平塚幼稚園園児作品展」が、スクエア荏原ならではの特色ある看板事業として、定着してきました。

- ③ ○美術館企画展「関口敦仁展 手がとどくけどさわれない」(10月16日(土)～11月23日(火・祝) ※期間中無休)を開催し1,869人の入場者がありました。1980年代の絵画・インスタレーション等の初期作品から、1990年代以降のCG・メディアを取り入れての活動や立体作品のほか、芸術情報学等の研究者としての実績も紹介し、品川区生まれのアーティスト関口敦仁の約40年にわたる芸術活動を網羅した展示となりました。今回はコロナ対策として土曜、日曜、祝日に事前予約制を導入、またアーティストギャラリートークも事前予約制とし感染症拡大防止対策をした上で2回実施しました。
- ④ 東海道神輿連合渡御は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度の実施が見送られましたが、感染状況を踏まえ事業名は「補助26号線開通記念東海道神輿連合渡御」、神輿の展示と式典のみとして、令和4年3月27日(日)旧東海道沿いの品海公園にて関係者の出席により開催し、その様子をライブ配信いたしました。

また、「輝け!しながわジェンヌ」は、平成30年度品川区民芸術祭のドリームステージでスタートし、令和元年、2年は事業団独自の「プロアマコラボ事業」として継続実施して参りました。宝塚OGとの夢の共演には、オーディションによる区民(しながわジェンヌ3期生)33人がプロの指導による4か月間7回のワークショップを重ねました。しかし、公演直前での緊急事態宣言再発令により公演の中止を余儀なくされ、改めて令和3年7月31日に2回公演を実施し、参加者および入場者の総数は延べ1,061人でした。さらに令和4年1月23日の公演は、きゅりあん改修前の「Thanks公演」として8日間のワークショップを重ねた1期生から3期生34人が集合しスペシャル公演として2回開催し、参加者および入場者の総数は延べ1,394人でした。

(2) 区民の文化芸術・生涯学習活動の場の提供及び活動の振興を図る事業の企画と実施(第2号事業)

- ① きゅりあんおよびスクエア荏原では、指定管理者として感染症拡大防止を図りつつ効率的な管理運営ときめ細かなサービス提供に努め、区民の文化・芸術や生涯学習、コミュニティ活動の場の提供を行いました。
- ② メイプルセンターでは、三密の回避、受講生の検温(非接触)、手指消毒および机、椅子をはじめ館内消毒を徹底するなど、新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら、319講座を開講しました。八潮教室やスクエア荏原教室は、感染症の影響もあり開講できませんでした。
- ③ ○美術館における芸術活動発表の場としてのギャラリー使用率は90.4%、品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)の使用率は65.3%でした。コロナ禍による休館および展示中止のため、コロナ禍以前の水準には未だ達してませんが復調の兆しがみえています。

(3) 区民の文化芸術活動の奨励・支援・協働に関する事業(第3号事業)

- ① きゅりあん等で行われる区民の公演等文化芸術活動への後援等は26件(後援22、共催2、協力2)でした。そのうち、主催者から委託を受けた4事業については、きゅりあんおよび

スクエア荏原でチケットを販売するなど活動を支援しました。

- ② 区内を中心に文化・芸術活動を行うアーティストの紹介・支援と、区民が身近にアートに親しめる機会として第13回「品川アーティスト展」を開催しました。昨年に引き続き、きゅりあんを会場に通常開催で準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から無観客実施に変更し、会場のようにライブ配信し、再生回数は延べ1,206回となりました。11の個人・団体が参加し、展示作品やステージパフォーマンス、アーティスト紹介などのほか、品川ゆかりアーティストが手がけたホッケースティックアートも会場内に展示し、作品の紹介を行いました。
 - ③ 品川のアーティストとアート活動の応援を目的としてアート活動応援マスコット「しな一と」の着ぐるみ製作を目指すクラウドファンディングを実施しました。この取組みを通じ事業団の事業目的等を知っていただける機会とすることができました。また、品川ゆかりアーティストから支援返礼品として作品提供協力もあり、支援者にアーティスト作品を手にとってもらうことが出来ました。目標額150万円に対し、個人77名、8団体から総額129万円のご支援をいただき、着ぐるみ製作が実現しました。今後事業団事業をはじめ、地域文化イベント等でアート活動支援に活用してまいります。
 - ④ 東京オリンピック・パラリンピック2020へ向けて地域で取組まれた「しながわホッケーファンゾーン」実行委員会から、アーティストによるホッケースティックへのペイント・デザイン制作の依頼があり、品川ゆかりアーティストへ呼びかけを行いました。15名のアーティストにより作品が制作され、品川ホッケーファンゾーンのイベント会場での展示では、他に類を見ない芸術作品として注目を受けました。また東京モノレールの浜松町、天王洲アイル、大井競馬場前の各駅において展示されました。
 - ⑤ メイプルカルチャー講座受講生の成果発表の場として、O美術館でメイプルメイツ展を開催しましたが、メイプル発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
 - ⑥ O美術館が共催で実施している「デジタル版画展2021—記憶の集積回路から—」(8月7日~18日※木曜休館)には443人の入館者がありました。また夏休み企画として子ども向けワークショップを開催しました。O美術館では円柱展示ケース修繕工事を行い(フレームのリニューアル、展示室内の電源増設)、展示環境の整備を図り、質の高い館の運営と区民利用の利便性向上に努めました。
- (4) 品川区における文化芸術活動の情報の収集、発信及び調査研究に関する事業(第4号事業)
- ① 文化芸術総合紙として公演情報や文化芸術振興のための活動などを広く知らせる「info CURIA」(発行部数140,500部 内新聞折込137,000部)を年10回(内4回はメイプルカルチャー講座募集号:発行部数144,750部)発行しました。
 - ② メールマガジンは毎月15日の定期配信に加えて、チケット発売・変更情報などタイムリーな情報を随時配信し、令和3年度末時点の会員数は5,461人(前年度比99人増)となりました。
 - ③ 事業団ホームページに加えてツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用して事業団主催・共催の公演・イベント情報をはじめ、品川ゆかりのアーティストの活動、事業団が後援している催し等の情報をタイムリーに発信しました。フェイスブック

の公式ページへの「いいね！」数は前年より 91 件増の 615 件になりました。また、アート活動応援マスコット「しなーと」を活用したインスタグラムを開設しアーティストの活動情報や地域の文化イベント情報を発信しました。その他フェイスブックへのネット広告の出稿も引き続き行いました。

(5) 品川区から受託する文化芸術・生涯学習活動施設の管理運営に関する業務（第 5 号事業）

①きゅりあんの指定管理者としての運営

指定管理者として安心・安全で効率的な管理運営と質の高いサービス提供に努めています。特に、コロナ禍での会館運営において、事務室・受付入室時や主催事業入場時の自動体温測定の徹底、飛沫防止用アクリルボードの設置、貸室内への消毒液の設置など、感染拡大防止対策の徹底に努めました。

令和 4 年 2 月からの大規模改修工事に伴い、事業団事務局およびきゅりあん受付をこみゅにていぷらざ八潮内に仮移転しました。移転期間中の施設利用予約については、来所による抽選会を休止し、ホール系の区民利用は郵送・FAX・窓口での申請受付後、職員による代理抽選としました。また、諸室等の利用および一般利用予約は、電話による受付とし、利用料の支払いについては口座振込も可能とするなど、利用者の利便性の向上に配慮しました。

②スクエア荏原の指定管理者としての運営

新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めつつ、安心して安全にご利用いただける施設運営を、例年にもまして受付・舞台・保守管理・清掃などの各セクションの受託業者と定例会の開催等を通じ、連携を密に協力し運営しました。

また、品川区との「品川区立荏原平塚総合区民会館の避難所機能維持管理等に関する協定書」により、荏原 3 丁目・荏原 4 丁目・平塚 4 丁目町会とともに運営する避難所連絡会議では、12 月 4 日（土）にスクエア荏原アリーナを会場にした避難所訓練を、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施しました。準備のために 2 回の連絡会議を開催し、地域の現状に沿った避難所運営のあり方について活発な議論を行い、共通の理解を深めることが出来ました。

③こみゅにていぷらざ八潮の運営管理

5 月末から 9 月中旬までスポーツ室が品川区の新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されました。また、8 月には東京 2020 パラリンピックに出場するコロンビア共和国パワーリフティング代表の事前キャンプ地として、第 1 多目的室・第 1 健康増進室・第 2 健康増進室を貸出し公開練習も行われました。

施設の改修工事として北棟・中央棟の照明器具 LED 化やグラウンドトイレの洋式化工事等をおこない利用環境を整備しました。

また、令和 4 年 2 月より北棟 3 階に事業団事務局およびきゅりあん受付が仮移転いたしました。

(6) 物品販売事業その他公益事業の推進に資する事業（第 6 号事業）

①物品販売事業

公益的事業を推進するための経費の一助となるよう、営利的事業として物品販売等を行っています。オリンピック・パラリンピックグッズや一筆箋の販売等により 12 万円余の収入がありました。

②その他事業

公益財団法人の公益事業認定基準においては、財団の目的に合致している施設利用形態及び財団の意思決定により施設運営がなされている場合、公益事業に該当するとされています。この基準により、(5)の施設運営のうち、きゅりあんの35%、スクエア荏原の16.1%、こみゆにていぷらざ八潮の80%を公益事業推進に資するその他事業として区分管理しています。

3. 令和3年度事業実績

(1) 公益目的事業

文化振興

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益目的事業	1. 情報収集・発信事業	◎文化芸術総合紙の発行	・info CURIA(140,500部発行) 5月11日、7月11日、9月11日、 11月11日、1月11日、3月11日 ※年10回の内6回を文化総合紙として発行	新聞折込・区内各施設等
		◎メールマガジンの発信	・Curia通信(会員数5,461人) 定例号12回、臨時号9回 合計21回	前年度5,362人(99人増)
		◎ツイッターでの情報発信	・公演事業、スクエアの2つのアカウントで運用 フォロワー252人	
		◎インスタグラムでの情報発信	・アート活動支援で運用 フォロワー169人	
		◎フェイスブックでの情報発信	・いいね! 数615(前年度より91増) 投稿数90	
		◎フェイスブック広告	出稿件数11件 (有料公演等8件、無料イベント等3件) 表示回数平均:377,887 クリック数平均:3,750	
	2. アート活動支援事業	◎品川ゆかりのアーティスト制度	・品川区にゆかりのあるアーティストをHPに登録 登録アーティスト 74人	前年度59人(15人増)
		◎品川アーティスト展	・実施日: 9月11日(土)・12日(日) ・出演者・団体:11<展示(8)/PA(3)> ・会場:きゅりあん(イベントホール) ・YouTubeライブ配信再生回数:延べ1,206回	新型コロナ感染拡大状況から、無観客開催に変更実施
		◎品川アーティスト7人展	・実施日: 11月12日(金)~14日(日) ・会場:スクエア荏原(展示室・会議室) ・入場者数:延べ280人	
		◎地域の文化芸術活動との連携	・しながわホッケーファンゾーンへの協力 ホッケースティックアート制作に品川ゆかりのアーティスト15人が参加。	
◎区内アート施設との連携		・品川アートめぐりマップ作成 掲載施設18、各施設・区施設にて配布		
◎クラウドファンディングの実施		・マスコット着ぐるみ化クラウドファンディングの実施 ・実施期間:9月11日~10月31日		
3. 東海道神輿連合渡御	◎補助26号線開通記念事業	・開催日:3月27日(日) ・会場:品海公園 ・YouTubeライブ配信再生回数:延べ1,552回		

メイプルセンター

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益目的事業	1. ホームページの運営、講座案内、講座募集チラシの発行	◎文化芸術の振興に資する情報の収集と提供	・info CURIA10回の内、4回は講座募集を発行 5月21日、8月21日、11月21日、2月21日発行 ・区広報「しながわ」随時掲載 ・ホームページ、フェイスブック、メールマガジンによる情報発信	発行部数144,750部 (新聞折込141,750含む)

公益 目的 事業	2. 文化教養講座 年4期 4・7・10・1月に 開催	◎文化芸術・生涯学習活動の 要望に応える事業の企画と 実施	【4月期講座】74講座 【7月期講座】78講座 【10月期講座】84講座 【1月期講座】83講座 計319講座 ・西大井 受講者数 延2,408人 ※八潮・スクエア荏原教室は休講	●趣味・教養講座 ●センスアップ講座 ●音楽講座 ●手工芸講座 ●書道講座 ●花・華道講座
	3. メイプルメイツ 展覧会	◎受講生の作品発表の場の提供	*10月2日～6日 入場者280人 参加講座 29講座 86人	
	4. メイプルメイツ 発表会	◎受講生の日頃の 成果発表の場の提供	*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

○美術館

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益 目的 事業	1. ○美術館・区民 ギャラリーの運営	◎美術芸術作品の鑑賞機会	<○美術館> ・日数 使用可能日数 270日 稼働日数 244日 使用率(日) 90.4% ・部屋数 使用可能部屋数 1,080室 稼働部屋数 920室 使用率(部屋) 85.2% ・展示開催数 35件 ・入館者数 12,632人	前年度比 28日増(12%増) 111日増(83%増) 前年度使用率 55.0%
			<区民ギャラリー> ・使用可能日数 277日 ・稼働日数 181日 ・使用率 65.3% ・使用団体件数 27件 ・入館者数 6,329人	12日増(4.5%増) 118日増(187%増) 前年度使用率 23.8% 15件増(125%増) 3,021人増(91%増)
	2. 文化団体の 活動の支援・育成	◎文化芸術活動の振興	共催展 「デジタル版画展2021 —記憶の集積回路から—」 ・8月7日～18日(11日間) ※木曜休館 ・入場者数 443人	美術活動を支援し、振興 を図る(○美術館)
3. 企画展の実施	◎美術芸術作品の鑑賞機会 の提供と作品発表の場の提供	「関口敦仁展 手がとどくけど さわれない」 ・会期 10月16日～11月23日(39日間) 期間中無休 ・入場者数 1,869人 ・展示作品数 油絵、インスタレーション、映像、研究 成果発表 約60点 ・アーティストギャラリートーク ①10月30日(土) 午後3時～4時 ②11月5日(金) 午後6時30分～7時30分 各回15人※事前予約制(先着)		

公演事業等 ◆:定員50%配席実施公演 ◇:定員100%配席実施公演 □:中止公演

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益的 事業	1.公演事業の 企画実施 ①主催事業 (9)	◆南佳孝&杉山清貴 JOINT LIVE	・実施日 5月24日(月) 入場者数 460人	きゅりあん 大ホール R2/6/6⇒1/28⇒5/24に延期
		◆桂宮治真打襲名公演 春風亭翔太/三遊亭小遊三 ほか	・実施日 7月5日(月) 入場者数 496人	きゅりあん 大ホール
		◆ワンコイン名画座① 金メダル男/走れT校バスケ部	・実施日 7月17日(土) 入場者数 2本上映 計 201人	きゅりあん 大ホール
		◆RIDER CHIPS LIVE 仮面ライダーGIRLS	・実施日 10月9日(土) 入場者数 302人 *配信274人	きゅりあん 大ホール
		◆品川フィル2021 どこかで聴いたクラシック	・実施日 10月30日(土) [完売] 入場者数 175人	スクエア荏原 ひらつかホール
		◆フレッシュ名曲コンサート モーツァルト「ジュピター」	・実施日 11月14日(日) 入場者数 511人	きゅりあん 大ホール
		◆ワンコイン名画座② グレイテストショーマン/君の膵臓を食べたい	・実施日 12月11日(土) 入場者数 2本上映 計 576人	きゅりあん 大ホール
		◇きゅりあんThanks公演 ブラック・プラス・ホトム・バンド	・実施日 1月29日(土) 入場者数 360人	きゅりあん 大ホール
		◆たかお晃市マジックショー シークレットガーデン	・実施日 3月27日(日) [完売] 入場者数 2回公演 計305人*配信47人	スクエア荏原ひらつかホール R3/2/6⇒8/21⇒3/27に延期
	②共催事業 (9)	□品川薪能	・実施日 5月28日(金) -中止-	文庫の森 特設舞台
		◆高汐巴 一人芝居 Bluck&Shadows	・実施日 6月19~20日(土日) 入場者数 3回公演 計 403人	スクエア荏原 ひらつかホール
		◆島津重矢コンサート	・実施日 6月30日(水) [完売] 入場者数 2回公演 計 1,361人	きゅりあん 大ホール
		□Jam Project Live 2020 アエソソ全国ツアー(文化放送主催)	・実施日 7月17~18日(土日) -中止-	きゅりあん
		◆ミュージック・モア Otonanoコンサート	・実施日 8月28日(土) [完売] 入場者数 475人 *配信327人	きゅりあん 大ホール R2/6/7⇒1/27⇒8/28に延期
		◆中村勘九郎・七之助 錦秋特別公演	・実施日 10月5日(火) [完売] 入場者数 2回公演 計 938人	きゅりあん 大ホール
		□kids meet JAZZ コンサート	・実施日 11月7日(日) -中止-	きゅりあん
		◇新春きゅりあん寄席 春風亭昇太/林家たい平 二人会	・実施日 1月14日(金) 入場者数 912人	きゅりあん 大ホール
		◆辛島美登里 コンサート Cherry blossoms 2021	・実施日 1月30日(日) 入場者数 395人 *配信224人	きゅりあん 大ホール 5/4⇒1/30に延期
	③区民芸術祭	◆ドリームステージ しながわ大演芸会	・実施日 9月26日(日) 参加者数 21人(7回)延147人 入場者数 330人	きゅりあん 大ホール
	④独自事業	◆輝け!しながわジェンヌ2021	・実施日 7月31日(土) [昼完売] 参加者数 33人(7回)延231人 入場者数 2回公演 計 830人	きゅりあん 大ホール R3/1/24⇒7/31に延期
		◇きゅりあんThanks公演 輝け!しながわジェンヌ2022	・実施日 1月23日(日) 参加者数 34人(8回)延272人 入場者数 2回公演 計 1,122人	きゅりあん 大ホール

公益 目的 事業	2.スクエア荏原 ①指定文化 事業 (a主催事業) (5)	◆忍たま乱太郎キャラクターショー &キッズコンサート	・実施日 12月5日(日) 入場者数 162人	スクエア荏原 ひらつかホール	
		◆N響メンバー企画による ピアノ三重奏inスクエア荏原	・実施日 1月28日(金) 入場者数 154人	スクエア荏原 ひらつかホール	
		◆Squareワンコインシネマ 「ナミヤ雑貨店の奇蹟」	・実施日 2月12日(土) 入場者数 281人	スクエア荏原 ひらつかホール	
		◆演劇体験教室 劇団SQ-E	・実施日 4月11日(日)～11月14日(日) 参加者数 20人(26回)延520人 11月14日(日)公演 観覧者数 150人	スクエア荏原 イベントホール・アリーナ ひらつかホール	
		◆和文化フェスタ2022 inスクエア荏原	・実施日 1月16日(日) 来場者数 269人(事前予約)	スクエア荏原 イベントホール他	
	(b共催事業) (2)	□杉山公章の歌声コンサート in スクエア荏原	・実施日 入場者数 -中止-	スクエア荏原 ひらつかホール	
		◆ファイヤーヒップス	・実施日 8月7.8日(土.日) 入場者数 657人(4公演)	スクエア荏原 ひらつかホール	
		②自主事業	◆平塚幼稚園作品展示	・実施日 10月27日(水)～11月2日(火) 来場者数 150人(事前予約)	スクエア荏原 展示室
			◆ひらつかホール演奏体験会	・実施日 ・6月28日(月)、29日(火)、 ・8月19日(木)、24日(火) ・1月25日(火)、27日(木) 参加者数 28組52人(事前申込)	スクエア荏原 ひらつかホール

きゅりあん指定管理事業

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益 目的 事業	1.総合区民会館の 運営	◎文化芸術・生涯学習活動 の振興	【利用日数】	前年度比
			・大ホール 192日	87日増(82.8%増)
			・小ホール 179日	63日増(54.3%増)
			・イベントホール 197日	42日増(27.1%増)
			・会議室(3室) 526日	13日減(2.4%減)
			・講習室(6室) 1,127日	17日減(1.5%減)
			・他研修室等(10室) 1,507日	125日増(9.0%増)

スクエア荏原指定管理事業

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益 目的 事業	1.荏原平塚総合 区民会館の運営	◎文化芸術・生涯学習活動 の振興	【利用日数】	前年度比
			・ひらつかホール 236日	106日増(81.5%増)
			・イベントホール 223日	57日増(34.3%増)
			・大・中会議室(2室) 405日	75日増(22.7%増)
			・小会議室・展示室(6室) 1,249日	206日増(19.8%増)
			・スタジオ(3室) 974日	182日増(23.0%増)
			・和室 195日	25日増(14.7%増)
			・アリーナ 310日	37日増(13.6%増)

八潮交流施設管理運営事業

区分	事業名	事業内容	実績	備考
公益目的事業	1.八潮交流施設の運営	◎文化芸術・生涯学習活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能日数 347日 ※午前・午後・夜間の3区分で利用 ・諸室(14室) 延6,425件 合計 72,137人 ・陶芸炉 延622件 合計 4,963人 ・託児室 延71件 合計 517人 ・スポーツ室+グラウンド 延2,164件 合計 56,464人 ※スポーツ室・グラウンドについては午前・午後1・午後2・夜間の4区分で利用	前年度比 52日増(17.6%増) 1,695件増(35.8%増) 25,199人増(53.7%増) 244件増(64.6%増) 1,155人増(30.3%増) 25件増(54.3%増) 79人増(18.0%増) 563件増(35.2%増) 22,686人増(67.2%増)

(2) 収益事業等(物品販売)・収益事業

区分	事業名	事業内容	実績	備考
収益事業	1.グッズ販売 コピー使用料	◎物品販売等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・メイプルセンター コピー使用料、会員カード代、 自販機手数料 ・O美術館、区民ギャラリー 一筆箋等グッズ、コピー使用料 ・きゅりあん オリンピック・パラリンピックグッズ販売 コピー使用料、ロッカー代、自販機手数料 	

(3) 収益事業等(その他事業)・公益目的外施設貸与

区分	事業名	事業内容	実績	備考
その他事業	1.総合区民会館 管理運営 (指定管理)	◎文化芸術・生涯学習の振興 以外の場の提供	総合区民会館(きゅりあん)の指定管理者として公益目的以外の施設貸与	指定管理事業全体の35%の業務
	2.荏原平塚総合 区民会館管理 運営(指定管理)		総合区民会館(スクエア)の指定管理者として公益目的以外の施設貸与	指定管理事業全体の16.1%の業務
	3.八潮交流施設 の管理運営受託		こみゅにていぶらざ八潮の区民活動施設を公の施設として管理	受託事業全体の80%の業務

(4) 法人運営事業

区分	事業名	事業内容	実績	備考
法人会計	1.財団運営	◎本部運営	法人事務局運営 財団本部運営、庶務事務全般	評議員会・理事会 財団庶務事務等

4. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

理事・監事

(令和3年度末現在)

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	中川原 史 恵	3. 6. 1 4	(公財) 品川文化振興事業団
副理事長	桑 村 正 敏	3. 6. 1 4	品川区副区長
副理事長	松 浦 啓 雄	3. 6. 1 4	荏原法人会役員
常務理事	中 山 武 志	3. 6. 1 4	(公財) 品川文化振興事業団
理事	井 上 裕 之	3. 6. 1 4	品川間税会会長
理事	高 林 正 敏	3. 6. 1 4	前区政協力委員
理事	鳥 山 玲 子	3. 6. 1 4	日本画家
理事	根 本 佳 子	3. 6. 1 4	音楽家
理事	三 浦 茂	3. 6. 1 4	前品川区代表監査委員
理事	村 林 慶 一	3. 6. 1 4	一般財団法人六行会理事長
監事	一 之 瀬 由 明	3. 6. 1 4	公認会計士・税理士
監事	和 田 正 幸	3. 6. 1 4	品川区区政相談員

評議員

(令和3年度末現在 五十音順)

役職	氏名	就任年月日	備考
評議員	市川信之助	2.6.12	品川区青少年対策地区委員会連合会会長
評議員	大木晋	2.6.12	株式会社ケーブルテレビ品川代表取締役社長
評議員	大倉考裕	2.6.12	品川区議会議員
評議員	小口江美子	2.6.12	昭和大学上條記念ミュージアム館長
評議員	田中奏香	2.6.12	品川区議会議員
評議員	丹治勝重	3.6.3	八潮自治会連合会会長
評議員	都丸繁	3.6.3	トット文化館館長
評議員	新妻佐江子	2.6.12	品川区議会議員
評議員	橋本久美子	2.6.12	株式会社吉村代表取締役社長
評議員	長谷川雅一	2.6.12	一般社団法人しながわ観光協会相談役
評議員	原道子	3.6.3	品川区華道茶道文化協会理事長

(2) 理事会等に関する事項

理 事 会

開会月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年5月26日	・令和2年度事業報告および収支決算の承認について	可 決
	・令和3年第2回評議員会(定時評議員会)の開催について	可 決
	・令和3年第2回評議員会(定時評議員会)に議案として提出する役員候補者について	可 決
	・評議員候補者の推薦について	可 決
	・評議員選定委員会の開催について	可 決
	・評議員選定委員の選任について	可 決
	・職務執行状況の報告について	了 承
令和3年6月14日	・理事長、副理事長および常務理事の選任について	可 決
	・評議員の選任について	了 承
令和3年10月22日 (書面決議)	・令和3年第3回評議員会(臨時評議員会)の招集について	可 決
令和3年11月15日	・令和4年度予算編成方針について	可 決
	・職務執行状況の報告について	了 承
	・令和3年度上半期の中間監査結果について	了 承
	・品川区立総合区民会館(きゅりあん)の大規模改修工事に伴う休館等について	了 承
	・クラウドファンディングの実施結果について	了 承
令和4年1月28日 (書面決議)	・令和4年第1回評議員会(臨時評議員会)の招集について	可 決
令和4年2月25日	・令和3年度事業計画および収支予算の変更について	可 決
	・令和4年度事業計画について	可 決
	・令和4年度収支予算について	可 決
	・役員等賠償責任保険契約について	可 決

評議員会

開会月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年6月14日	・令和2年度収支決算の承認について	可 決
	・任期満了に伴う役員の選任について	可 決
	・評議員の選任について	了 承
	・令和2年度事業報告について	了 承
令和3年11月15日	・令和4年度予算編成方針について	可 決
	・令和3年度上半期の事業実績について	了 承
	・令和3年度上半期の中間監査結果について	了 承
	・品川区立総合区民会館(きゅりあん)の大規模改修工事に伴う休館等について	了 承
	・クラウドファンディングの実施結果について	了 承
令和4年3月4日	・令和3年度事業計画および収支予算の変更について	了 承
	・令和4年度事業計画について	了 承
	・令和4年度収支予算について	了 承